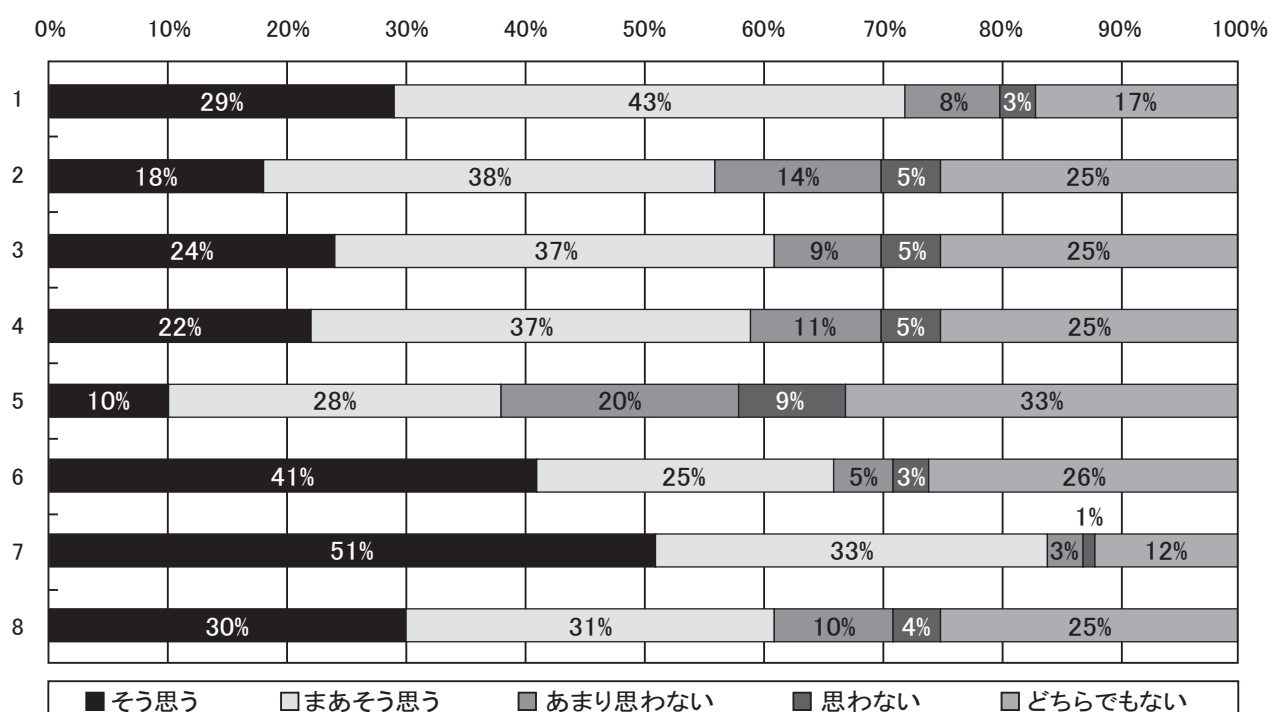


2 アンケート調査の集計結果の概要

【直接交流を実施している児童・生徒の保護者からの回答結果】

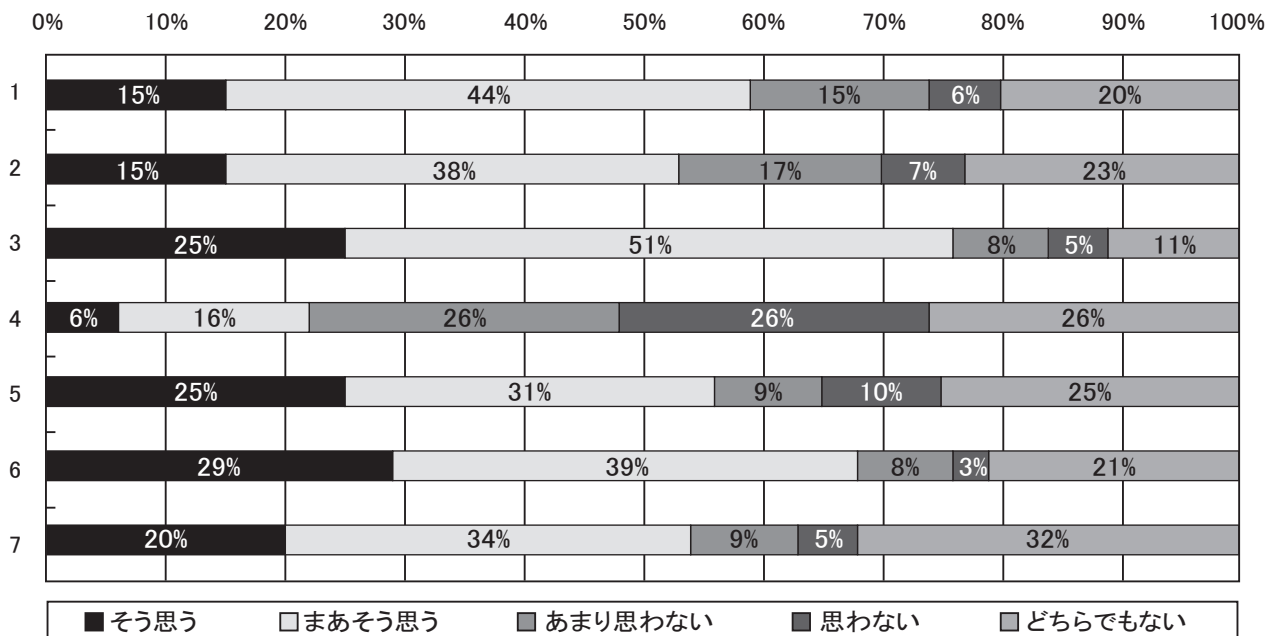
1	直接交流の内容に、満足している。
2	直接交流の継続により、我が子の成長が感じられる。
3	直接交流の継続により、地域指定校の児童・生徒の理解が進んだ。
4	直接交流の継続により、地域指定校の教員(学級担任)の理解が進んだ。
5	直接交流の継続により、障害のある児童・生徒に対して、地域指定校全体の教員や保護者の理解が進んだ。
6	来年度以降も副籍(直接交流)を継続したいと思う(中学部3年は除く)。
7	直接交流は、共生社会の形成に向けて意義がある。
8	「今後、都立特別支援学校の小中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。



- ① 72%の保護者が、直接交流の内容に満足している。
- ② 56%の保護者が、交流の継続により我が子の成長を感じている。
- ③ 61%の保護者が、地域指定校の児童・生徒の理解が進んだと考えている。
- ④ 59%の保護者が、地域指定校の学級担任の理解が進んだと考えている。
- ⑤ 38%の保護者が、地域指定校全体の教員や保護者の理解が進んだと考えている。
- ⑥ 66%の保護者が、来年度以降も継続を望んでいる。
- ⑦ 84%の保護者が、副籍制度が共生社会の形成に意義があると考えている。
- ⑧ 61%の保護者が、原則として全員が副籍をもつことが良いと考えている。

【間接交流を実施している児童・生徒の保護者からの回答結果】

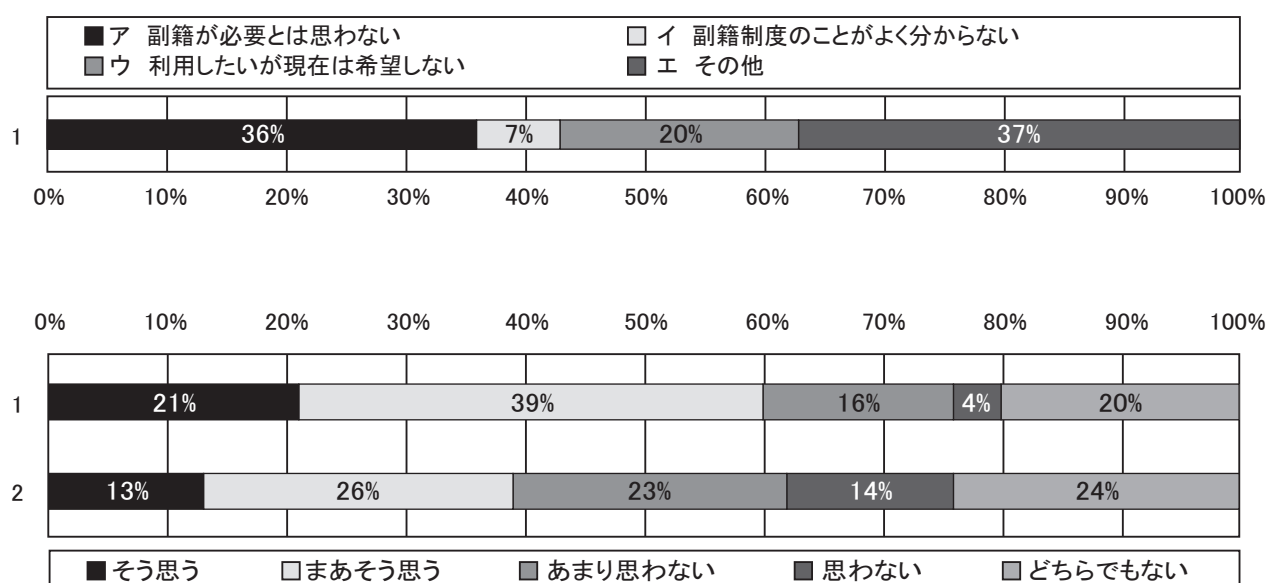
1	間接交流の内容に満足している。
2	家族で、学校だよりなどが届くことを楽しみにしている。
3	間接交流の継続により、地域指定校の様子を知ることができる。
4	今後、直接交流を希望したい。
5	来年度以降も副籍を継続したいと思う。
6	直接交流は、共生社会の形成に向けて意義がある。
7	「今後、都立特別支援学校の小中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。



- ① 59%の保護者が、間接交流の内容に満足している。
- ② 53%の保護者が、家族で学校だよりが届くことを楽しみにしている。
- ③ 76%の保護者が、域指定校の様子を知ることができると考えている。
- ④ 22%の保護者が、今後、直接交流を希望している。
- ⑤ 56%の保護者が、来年以降も継続を望んでいる。
- ⑥ 68%の保護者が、副籍制度が共生社会の形成に意義があると考えている。
- ⑦ 54%の保護者が、原則として全員が副籍をもちることがと良いと考えている。

【副籍制度を利用していない児童・生徒の保護者からの回答】

1	副籍制度を利用していない理由をお聞かせください。
2	副籍制度は、共生社会の形成に向けて、意義がある。
3	「今後、都立特別支援学校の小中学部に在籍する児童・生徒は、原則として全員が副籍をもち、交流を希望する人は交流を進めた方が良い」という考え方がありますが、このことについてどう思いますか。



① 20%の保護者は、副籍制度を利用したいと考えている。
 (小学部22%、中学部17%)
 7%の保護者は、副籍制度のことがよく分からないと感じている。
 36%の保護者は、副籍制度を必要と感じていない。
 (小学部33%、中学部39%)

② 60%の保護者が、副籍制度が共生社会の形成に意義があると考えている。

③ 39%の保護者が、原則として全員が副籍をもつことが良いと考えている。